東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2009 年 9 月 4 日

天使を信じること

アッラーへの信仰につぎ、信仰の基本の 2 つ目としてクルアーンで示されている天使たちは、優美で、目には見えず、感覚によってのみ感じられる輝かしい、そして霊的な存在です。人間のように飲み食いすることはなく、男女の区別もありません。性欲も持たず、過ちや罪を犯すこともありません。

天使たちはアッラーの命令を過不足なく、一切の反抗もなしに実践します。天使はその任務の面から主に三種類に区分することが可能です。

A 常にアッラーに対し感謝、唱念、賛美、賞賛を行なうことが任めとされている天使たち。

「あなたは見るであろう、天使たちが八方から玉座を囲んで、主を讃えて唱念するのを。」（集団章第 75 節）「主の」玉座を担う者たち、またそれを取り囲む者たちは、主の御光を讃え、かれを信仰し、信じる者のために御赦しを請い、祈って（言う）。」（ガーフィル章第 7 節）

B 万物の均衡を守り、アッラーのご意志と定められた神の法を実現させせることを務めとする天使たち。アッラーが地上に定められた法を継続させるために注意深く任務を実践します。

C 人間たちの物質的・精神的必要性に関して務めを負った天使たち。

1　ジブラーイール　神のメッセージを預言者ムハンマド（アッラーの祝福と平安がありますように）に伝えた最も偉大な天使です。ジブラーイールはクルアーンでは「霊」「聖霊」「ジブリール」などといった名称で語られています。

2　ミカイル　自然の力を司ることを務めとし、被造物の糧を管理しています。ミカイルに対して敵対することはアッラーへの敵対という意味を持ちます。

3　イスラーフィール　「スル」と呼ばれる、世界の終末を告げるものを、二度吹くことを務めとしています。最初にそれを吹いた時には、地上や空に存在する全てのものが死に絶えます（アッラーが望まれるものは除きます）。二回目に吹いた時は皆起き上がり、周囲を見渡すのです。

4　アズラーイール　「死の天使」とも呼ばれます。クルアーンでも「死の天使」として登場しています。「言ってやるがいい。『あなたがたを受け持つ死の天使があなたがたを死なせ、それから主に帰らせる。』」（アッ・サジダ章第 11 節）

5　キラーマン・カーティビーン　記録の天使、もしくはラキーブ、アティードという名によっても呼ばれるこの天使たちは、人々が行なったことを記録します。右側にいる天使はよいこと、美しいことを、左側にいる天使は悪事や醜いことを記録します。

6　人々の仕事の一部に関わる天使たち。この天使たちは信者の為にドゥアーし、クルアーンが読まれる時には地上に降りてきてその周囲にいてクルアーンを聞き、知や唱念の探求の場に加わり、礼拝で開端章が読まれた際には「アーミーン」と唱えます。

7　ムンカルとナキル　死後、墓場において人々を尋問する務めを負う天使です。尋問に対する答えに応じ、死者に対しよく振舞うこと、あるいは悪く振舞うこともその任務です。

8　天国や地獄での仕事を受け持つ天使たちです。彼らの数は非常に多いです。実際の数はアッラーのみがご存知です。信者に対し奉仕する天使（その長はルドゥワンです）がある一方で、地獄において無信心者に罰を与える天使もいます。

イスラームの最も基本的な信仰基盤の一つである天使への信仰を拒むことは、教えから外れることとされています。主よ、証人となってください。私たちは心から天使を信じます。